

アジアサテライトキャンパス学院フィリピンキャンパスの入学式が2020年11月19日にオンラインで行われました。

アジアサテライトキャンパス学院(ASCI)のフィリピンキャンパスでは、2020年度の国家中枢人材養成プログラム博士課程学生として、生命農学研究科と国際開発研究科にそれぞれ1名ずつが入学しました。入学式はウェビナー形式で、2020年11月19日にフィリピン大学ロスバニョス校(UPLB)を主会場として、名古屋大学やフィリピンの複数の各会場をオンラインでつないで行われました。両国の国歌が流されたのち、名古屋大学松尾総長、UPLB Camacho総長、在フィリピン日本国大使館広報文化センター佐藤所長、名古屋大学同窓会フィリピン支部Saloma会長による開会の挨拶に続き、JICA-フィリピン事務所和田所長、フィリピン大学機構Concepcion総長、東南アジア地域農学高等教育研究センター(SEARCA)Gregorio所長、国際稲研究所(IRRI)Morell所長、ビサヤ州立大学(VSU)Tulin学長による祝辞がありました。そののちフィリピンキャンパスの最新状況と今後の展開についてASCI山内副学院長(生命農学副研究科長)からスライドを使って説明がなされました。そして生命農学研究科土川研究科長と国際開発研究科山形研究科長による挨拶と新入生の紹介があり、続いて新入生2名からの抱負と最後にASCI磯田学院長による激励と閉会の辞が述べられました。フィリピンキャンパスは2016年に第1期生が入学して以来、5年目を迎えましたが、2020年度を含めて14名が入学し(10名が生命農学研究科、4名が国際開発研究科)、そして2名が博士学位を取得しました。詳細については下記のURLをご覧ください。 <http://asci.nagoya-u.ac.jp/news/detail.php?no=80>.



写真

1. 松尾総長挨拶(最上段左端)
2. 山内副学院長(生命農学副研究科長)による説明
3. 生命農学研究科入学式会場風景(小会議室)